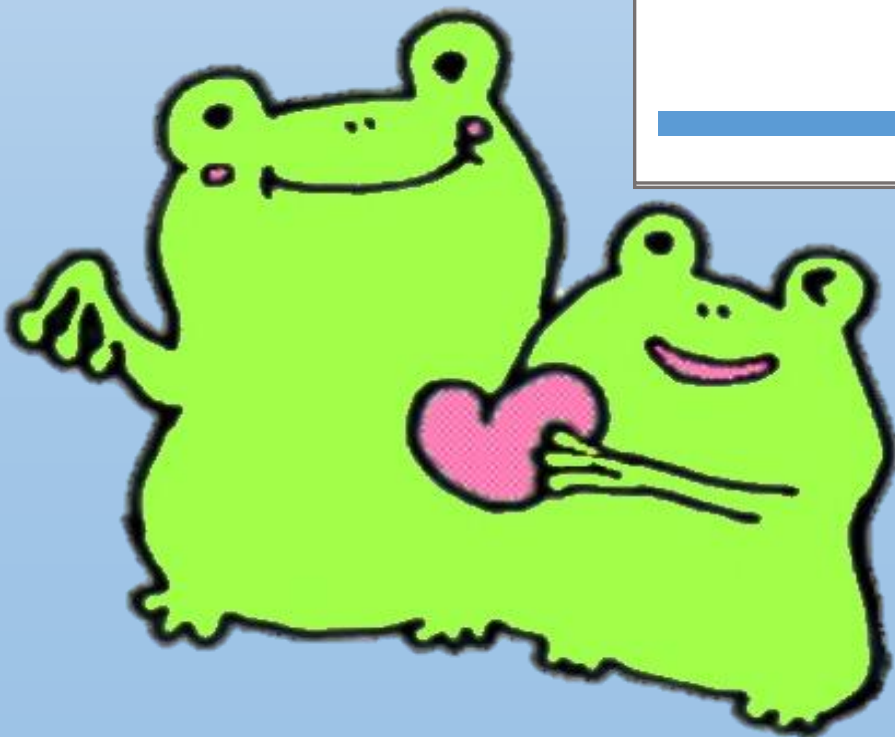


京都市南区・向日市・大山崎町・島本町・高槻市と実施した搜索体験は、行方不明発生時に近隣市町村と連携が取れる顔の見える関係づくりを行い、認知症等により行方不明になられる方が市外に出かけられても地域で安心して暮らすことができる体制を築くための一歩となるよう計画しました。また、長岡京市内においても、関係機関や協力機関とさらに協力し合えるよう連携を確認するとともに、市役所での取り組みを改めて知ってもらう機会とし実演見学と搜索体験を企画しました。

平成 29 年度 迷い人搜索体験 ～実施報告書～

2017.9.21/22

長岡京市 高齢介護課



かしこ暮らしっく

長岡京



目次

実施内容概要	3
第 1 部 搜索体験	5
搜索体験の目的	5
全体スケジュール	5
搜索スケジュール・搜索エリア	6
第 2 部 搜索体験	7
搜索体験の目的	7
全体スケジュール	7
搜索スケジュール・搜索エリア	8
第 1 部 搜索体験、第 2 部 搜索体験を終えて	9
搜索体験振り返り	9
情報伝達訓練振り返り	10
第 3 部 搜索体験	13
搜索体験の目的	13
タイムスケジュール	13
搜索エリア	13
第 3 部 搜索体験を終えて	14
行方不明対応実演・搜索体験振り返り	14
資料	15
資料 1: 体験会で利用したツール	15
資料 2: Bluetooth 機能を活用した見守り体制	18
資料 3: 第 1 部・第 2 部 広域搜索体験参加者アンケート結果	20
資料 4: おでかけあんしん見守り事業概要	24
資料 5: おでかけあんしん見守り事業利用状況	26



資料6:平成29年度行方不明届出・対応状況	26
資料7:平成29年9月かえるお守り通過ログ	27





実施内容概要

●全体説明会 & 意見交流会

実施日	平成29年9月1日(金)
場所	バンビオ市民ギャラリー(長岡京市)
内容	13:30～14:00 検索体験の概要説明(バンビオ市民ギャラリー) 14:00～15:30 ワールドカフェ(バンビオ市民ギャラリー)
参加人数・ 参加市町	32 名 大阪府島本町、高槻市、京都府大山崎町、京都市南区、乙訓保健所、長岡京市

●第1部検索体験会

実施日	平成29年9月21日(木)
場所	阪急洛西口駅前から JR 桂川駅前付近
内容	9:00～12:00 情報伝達の検証 13:30～14:30 検索体験(阪急洛西口駅～JR 桂川駅付近)
参加人数・ 参加市町等	31 名 京都市南区、向日市、乙訓保健所、南警察署、向日町警察署、長岡京市 (情報伝達訓練のみ:京都市、京都市西京区、京都府)

●第2部検索体験会

実施日	平成29年9月21日(木)
場所	阪急上牧駅前付近
内容	10:00～10:45 情報伝達の検証 10:45～11:30 検索体験(阪急上牧駅付近)
参加人数・ 参加市町等	96 名 大阪府島本町、高槻市、京都府大山崎町、乙訓保健所、高槻警察署、向日町警察署、大阪府警察本部、京都府警察本部、長岡京市 (情報伝達訓練のみ:大阪府、京都府)



●第3部 搜索体験会

実施日	平成29年9月22日(金)
場所	長岡京市立中央公民館市民ホール及び JR 長岡京駅から中央公民館付近
内容	14:00～14:30 情報伝達の検証、情報伝達実演見学(中央公民館市民ホール) 14:30～15:00 搜索体験(JR 長岡京駅～中央公民館付近)
参加人数・ 参加団体	72名 向日町警察署、乙訓消防組合、乙訓保健所、民生児童委員、おでかけあんしん見 守り隊、他市町認知症施策担当者





第 1 部 搜索体験

搜索体験の目的

- ① 情報伝達の検証
- ② 近隣市町の連携、参加者の交流を兼ねた搜索体験
- ③ 情報シートや GPS、Bluetooth など認知症施策の検証

全体スケジュール

時間	内容	
9:00	長岡京市から乙訓保健所を通じて情報提供 長岡京市→乙訓保健所→京都府→京都市→南区・包括 →協力機関 ※情報伝達方法の確認と所要時間の検証	情報伝達の検証
9:35	位置情報の確認(阪急長岡天神駅で感知 9:30) 向日町警察署に情報提供、防犯カメラの確認 京都方面の電車に乗られたことを確認	
9:50	京都市南区、京都市西京区、向日市に情報伝達 京都府を通じて情報伝達されていない場合は、 この連絡を元に協力機関へ情報伝達 ※情報伝達方法の確認と所要時間の検証	
13:30	位置情報の確認(阪急洛西口駅で感知 13:30) 向日町署、京都市南区に情報提供	搜索体験
13:45	搜索開始(阪急洛西口駅～JR 桂川駅付近)	
14:15	行方不明者発見 ※声かけ ※発見の連絡(発見者→向日町警察署又は南警察署) ※警察官への引継ぎ	
14:30	終結シート送信	情報伝達の検証



第 2 部 搜索体験

搜索体験の目的

- ① 情報伝達の検証
- ② 近隣市町の連携、参加者の交流を兼ねた搜索体験
- ③ 情報シートや QR コードシールなど認知症施策の検証

全体スケジュール

時間	内容	
10:00	長岡京市から乙訓保健所を通じて情報提供 長岡京市→乙訓保健所→京都府→大阪府→ 島本町・高槻市→ネットワーク 向日町警察署 ※情報伝達方法の確認と所要時間の検証	情報伝達の検証
10:35	位置情報の確認 (大山崎小学校前で感知 10:00) (阪急上牧駅前付近で感知 10:30) 向日町警察署に情報提供 向日町警察署→高槻警察署	
10:45	大山崎町・島本町・高槻市に情報伝達 京都府を通じて情報伝達されていない場合は、 この連絡を元にネットワークへ情報伝達 ※情報伝達方法の確認と所要時間の検証	
10:50	搜索隊へ情報伝達 上牧駅前付近で搜索開始	搜索体験
11:20	行方不明者発見 ※声かけ ※発見の連絡(発見者→向日町警察署又は高槻警察署) ※警察官への引継ぎ	
11:30	終結シート送信	情報伝達の検証

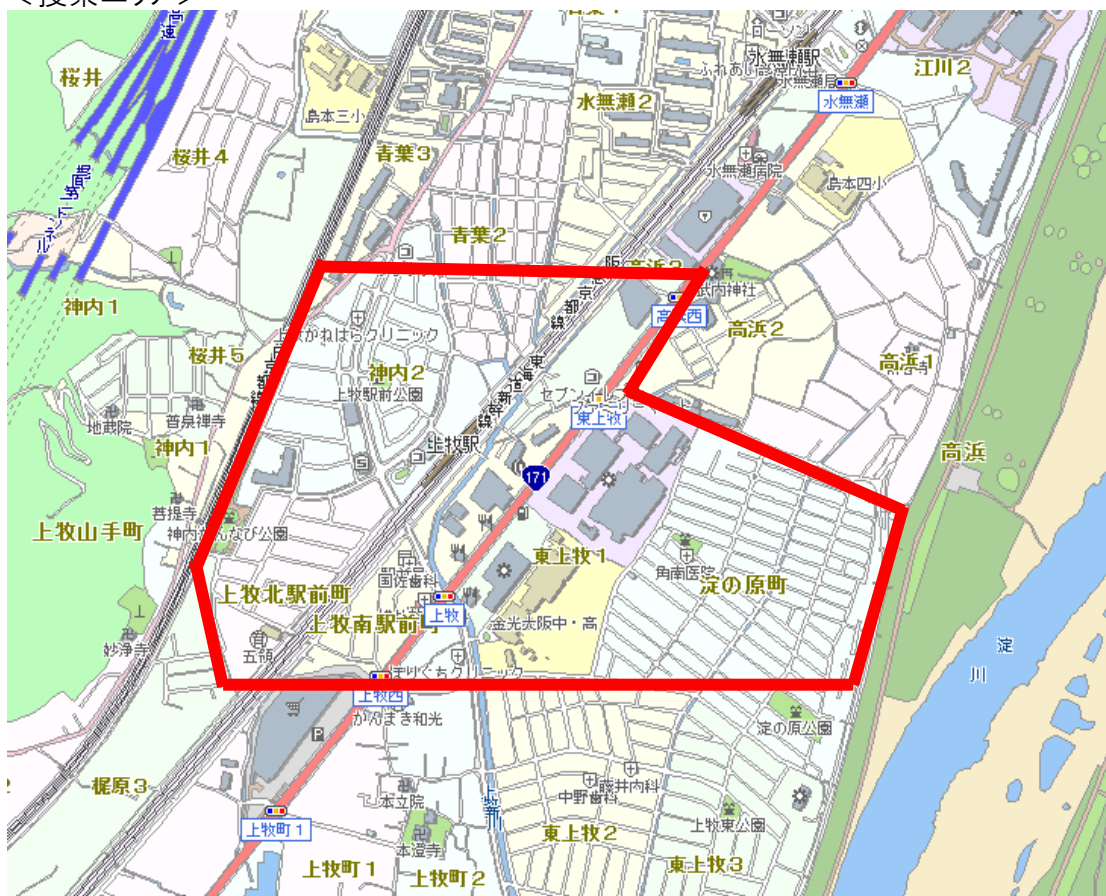


搜索スケジュール・搜索エリア

＜搜索スケジュール＞

時間	内容
10:40	コーナン高槻上牧店駐車場集合
10:50 ～ 11:20	各市町の担当者から、長岡京市からの協力依頼があったことの連絡を受け搜索を開始 集合場所から搜索エリアまで移動し、搜索チームごとに分かれて搜索を行う。 ・ 行方不明者を発見した場合は、声かけを行い上牧駅前へ誘導し、向日町署又は高槻署に行方不明者発見の電話をする。 ・ 警察官に行方不明者を引継ぐ ・ 行方不明者2名が発見された時点で搜索体験を終了とする
11:20	解散 集合場所にいったん戻り、挨拶後アンケートを受け取り解散

＜搜索エリア＞





第 1 部 搜索体験、第 2 部 搜索体験を終えて

搜索体験振り返り

第 1 部 搜索体験では、行方不明者 1 名を指定されたエリア内で搜索しました。行方不明者は反射シールを貼った靴を履き、かえるお守りと GPS を所持していました。搜索は 6 グループに分かれて実施し、搜索開始 15 分経過後より GPS を利用した搜索を開始しました。行方不明者は搜索開始後約 15 分で発見されました。GPS を利用する前行方不明者が発見されたので、参加者からは GPS 等の機器がなくても、行方不明になった直後に多くの人の目で搜索することがいかに重要かわかったという意見やすれ違う人の顔を凝視するのは難しいので足元に反射シールなど目印になるものがあれば探しやすい等の意見がありました。

第 2 部 搜索体験では、行方不明者 2 名を指定されたエリア内で搜索しました。行方不明者の 1 人は反射シールを貼った靴を履いており、もう 1 人は QR コードシールを貼った服を着ていました。どちらの方もかえるお守りを所持していました。搜索は 10 グループに分かれて実施し、実際の行方不明を想定し、徒歩だけでなく、自転車やバイクでの搜索も実施しました。搜索開始後約 15 分で 1 人目の行方不明者が発見され、2 人目の行方不明者は搜索体験終了間際の開始後 35 分ごろ発見されました。かえるお守りの位置情報を手掛かりに搜索するグループと位置情報なしで搜索するグループがありましたので、参加者からは大まかな位置情報だけでもあると搜索範囲を絞りやすいことがわかったという意見がありました。また情報シートに記載されていた「電車が好き」という情報を元に線路沿いを搜索していたグループが発見に至ったことから、事前登録制度の重要性を再認識したという意見が多く挙がりました。事前登録するためには写真を用意し、よく行く場所や趣味嗜好等書く内容が多いので、登録自体が大変と感じていたが、その情報が搜索する上で大きな手掛かりとなることが実感できたというものでした。

どちらの搜索体験も、広域で実施し市区町混合のグループで搜索しましたので、搜索体験前の会議や搜索体験を通じてそれぞれ市区町が使用しているツールや実施している施策の情報共有ができ、使いやすさ等有効性を検証できましたので、ツールや施策を見直すよい機会となりました。また、今回の搜索体験は所管警察署及び警察本部も合同で実施しましたので、行方不明者発見で終了するのではなく、発見後に警察署へ電話連絡し、警察官へ引き継ぎを行うところまで行いました。行政や地域包括支援センターの職員でも警察へ連絡する機会はほとんどありませんので、実際の連絡方法や保護後のやりとりがわかってよかったという意見がありました。広域でさまざまな機関が合同で実施した搜索体験だからこそ見えてくる気づきや課題について様々な声があがりました。





情報伝達訓練振り返り

認知症等による行方不明者を無事発見保護するため、居住している市町村から都道府県へ行方不明情報をメール等で連絡すると全国に情報発信される体制が作られています。今回の訓練では、その情報伝達にどのくらいの時間がかかるかも併せて検証しました。

第1部情報伝達訓練では、行方不明者が阪急電車に乗り京都方面へ行かれたことがわかり、近隣市町村へ情報提供及び協力を依頼するものでした。ですから、長岡京市から乙訓保健所を通じて京都府庁へ行方不明情報の連絡をし、その情報を京都府から京都市へ、京都市から西京区、南区、それぞれの区の地域包括支援センターへ情報伝達されていくのが通常の情報伝達ルートとなります。今回の訓練では、通常の情報伝達ルート以外に、長岡京市から直接近隣市町村へ情報伝達する方法も実施しました。

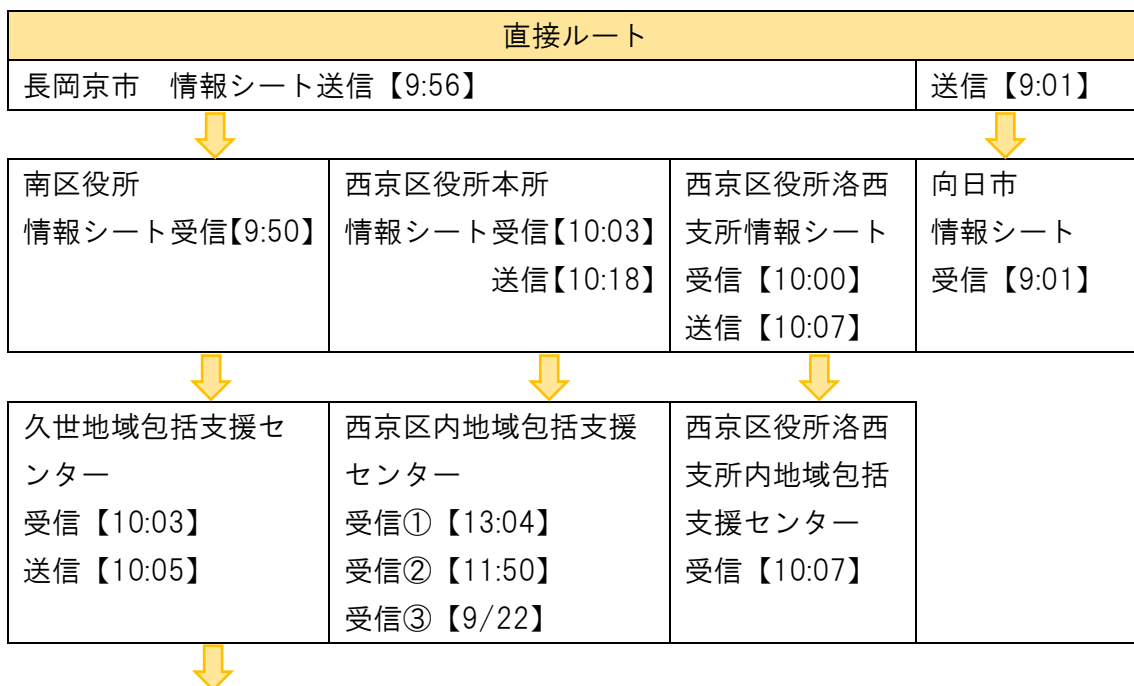
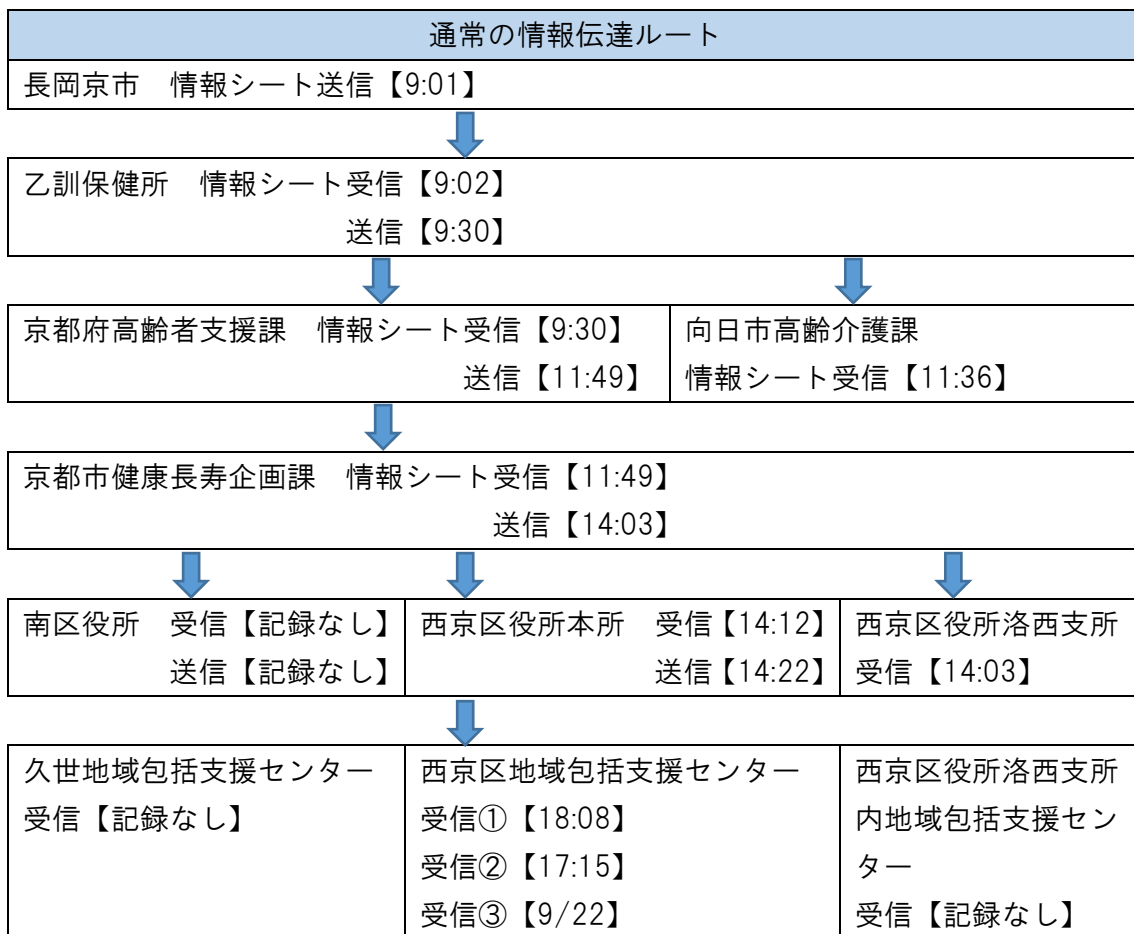
通常ルートでは、本市が情報発信してから京都市南区役所・西京区役所へ情報が届くまでに約5時間かかっています。直接ルートでは、南区役所・西京区役所に直接送信していますので、各区地域包括支援センターまででも15分程度で届いています。行方不明者を検索したJR桂川駅付近から本市までの距離は約5kmですので、歩いて1時間30分程度で行ける範囲です。本市から5時間北上すれば京都市北区のほうまで歩いていくことができることとなります。

第2部情報伝達訓練では、行方不明者が徒歩で大阪方面へ向かわれていることがわかり、近隣市町村へ情報提供及び協力を依頼するものでした。長岡京市から乙訓保健所を通じて京都府へ、京都府から大阪府へ、大阪府から高槻市・島本町へ行方不明情報が伝達されていくのが通常の情報伝達ルートとなります。第1部同様、長岡京市から直接近隣市町村へ情報伝達する方法も実施しました。府をまたいだ訓練であったことや行方不明発生から終結までが2時間と短時間であったこともあり、通常ルートでは、高槻市・島本町まで情報伝達されずに終了しました。本市が情報発信してから大阪府へ情報が届くまでに約4時間かかっています。行方不明者を検索した阪急上牧駅付近から本市までは約7kmですので、歩いて約2時間、自転車なら約35分で移動できる距離です。

どちらの訓練からも情報伝達にかかる時間には課題があることがわかりました。ただ、行方不明が発生すればいつでも近隣市町村へ直接連絡しては緊急時の対応が煩雑になるだけでなく、たびたび依頼が来ることで緊急対応の必要性を認識してもらいづらくなります。GPSやかえるお守りのように行方不明者の位置情報がおおまかにでもわかっているならば、ある程度範囲を絞り、必要なところに迅速に情報伝達が行えることがわかりました。また、京都市のように役所と同時に地域包括支援センターへも情報伝達される方法は、情報伝達時間の短縮に有効と感じました。



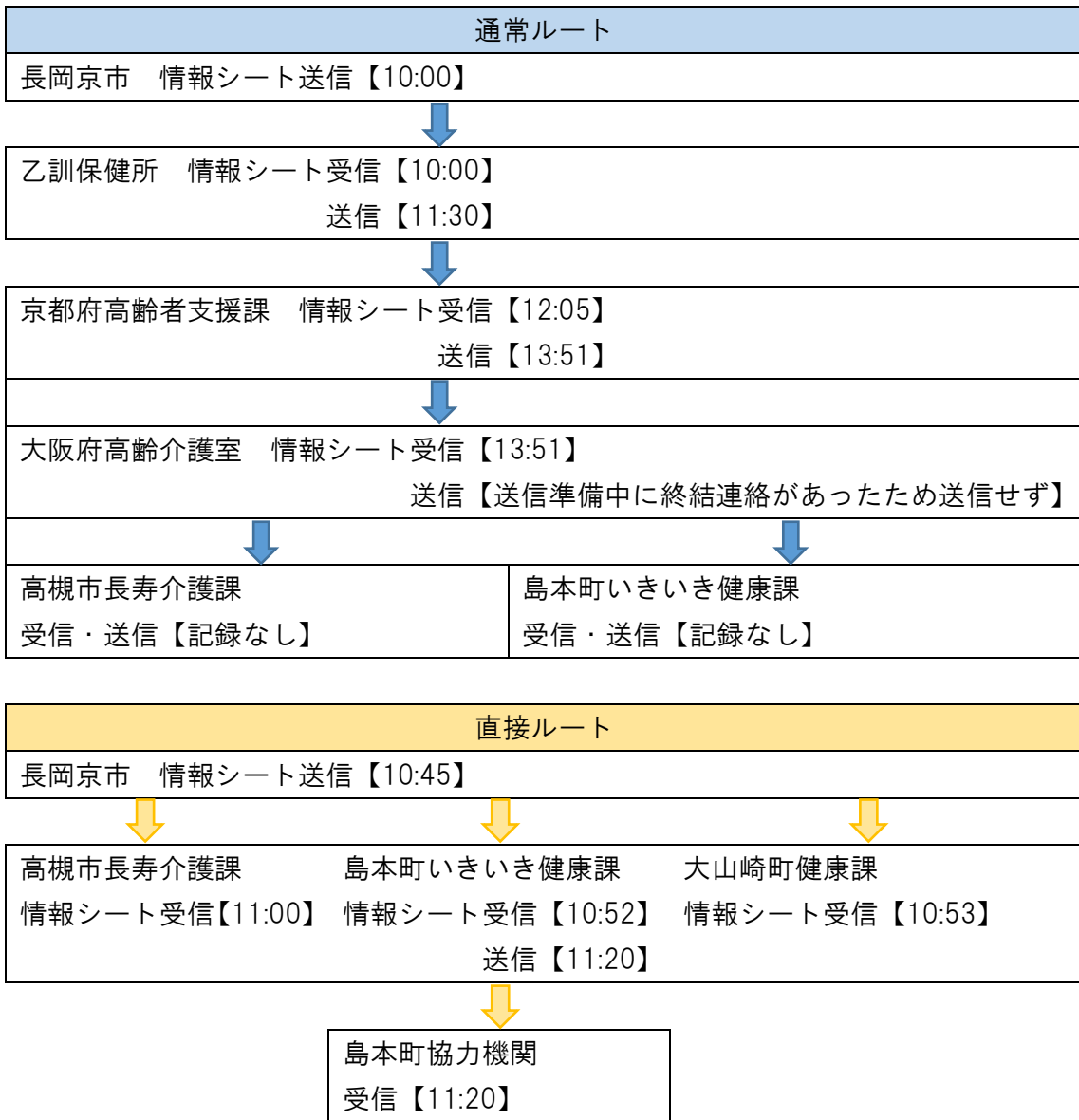
<第1部 情報伝達訓練>





南区久世地域協力事業所
受信①【10:15】
受信②【10:10】
受信③【10:14】

＜第2部 情報伝達訓練＞





第 3 部 搜索体験

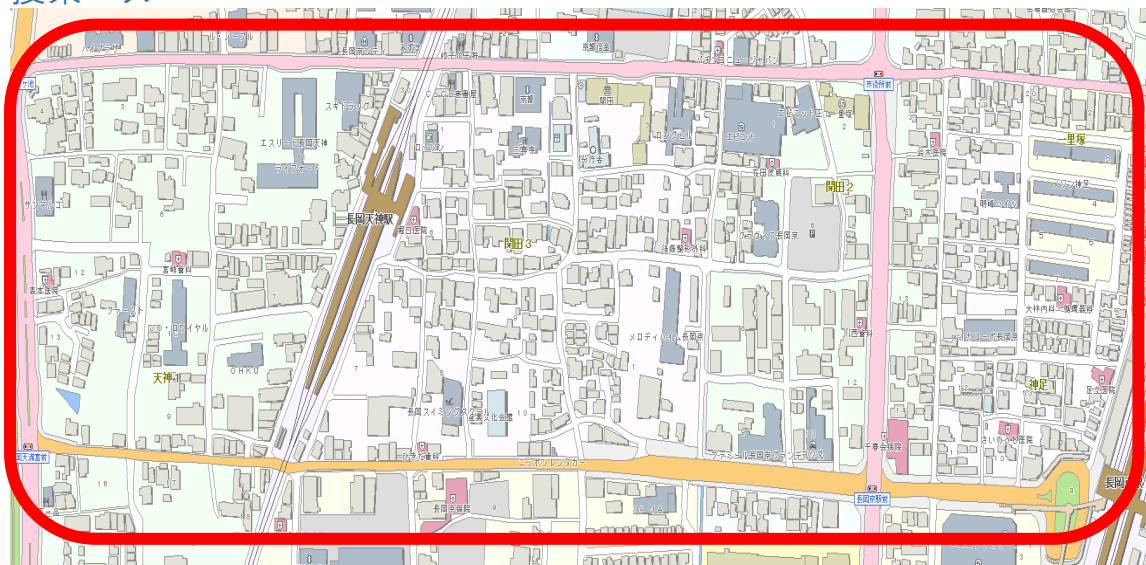
搜索体験の目的

- ① 情報伝達の検証
- ② 関係機関、協力機関との連携確認及び施策説明
- ③ 情報シートや Bluetooth など認知症施策の検証

タイムスケジュール

時間	内容
14:00	行方不明発生時の情報伝達実演 ● 情報シート・情報シート作成と送信、アプリ協力要請 ● 向日町署、乙訓消防本部、乙訓保健所、向日市、大山崎町との連携実演 ● Bluetooth 機器による位置情報の確認
14:30 ～ 15:00	搜索開始 位置情報の確認 (JR 長岡京駅で感知 13:00、みずほ銀行で感知 13:30) 搜索隊に情報提供 ・ 無線機を利用し情報提供を行う ・ 行方不明者を発見した場合は、声かけを行い、向日町警察署に電話をする ・ 警察官に行方不明者を引き継ぐ ※搜索に参加しない見学者は、市民ホールで位置情報の確認を見学
15:00	終結シート送信

搜索エリア





第 3 部 搜索体験を終えて

行方不明対応実演・搜索体験振り返り

本市では認知症等による行方不明者を早期発見保護するためにおでかけあんしん見守り事業を実施しています。高齢者の方には万が一に備えて事前登録をしてもらい、地域の方々には「おでかけあんしん見守り隊」「メールサポーター」「ぶじかえる応援団」という形で見守りに協力していただいています。

警察・消防・地域包括支援センター等関係機関と協力機関で、改めて協力体制を確認する目的で実施した実演では、市へ行方不明の情報が入ってから関係機関・協力機関へ情報伝達されるまでの過程を見てもらいました。各協力機関等が情報伝達のどの部分を担っているかをわかっていただき、改めてその役割の重要性を確認してもらうことができました。事業開始から 4 年が経ち、協力していただいている機関も増えてきましたので、お互いに再認識できたことは大きな成果となりました。

搜索体験では、平成 27 年度に導入した Bluetooth 機器の有効性を知っていただくために、搜索グループには感知された位置情報と時間を随時知らせながら搜索をしていただきました。ソフトバンクの実証実験で設置されている固定受信器やぶじかえる応援団とすれ違くと、位置情報が出てきますので、その情報をもとに 8 グループで搜索を行いました。参加された方からは、地域で行方不明者があれば近くだけでも探そうと思うが、近くの地域の人でなくても位置情報があつて近くにいるとわかれば探すこともできると思うので、メール等で配信してほしいという要望が出ました。機器の利便性を活用しながら、多くの人の目で見守ることの大切さを民生児童委員をはじめ多くの関係者に理解していただき、協力していただける素地が醸成されていることを実感することができる体験会となりました。





資料

資料1:体験会で利用したツール

体験会で利用したツール①情報シート(第1部・第2部・第3部で使用)

情報シート

長岡京市の「情報シート」を利用。

行方不明者発見時には、情報シートに記載されている呼び名で声をかけてください。

発見後、警察署へ連絡いただくときは、シートの番号又は反射シール番号を言ってください。

反射シール番号

情報シートには、靴に貼っている反射シールの番号を記載していますので、捜索時の参考にしてください。

体験会での反射シール番号は「999」になります。

さがしています！

27-99

4月1日(月)の午前9時00分ごろ、自宅を出られてから戻っておられません。ご本人の特徴は以下の通りです。捜索にご協力いただけますようお願いいたします。

さがしています

「要救護者」情報シート

平成27年4月1日

おでかけあんしん見守りネットワーク事務局

みほん

反射シール番号: 999 番

氏名	たろう さん	性別	男	年齢	99歳
住所	長岡京市 開田1丁目 (長岡中学校区)				
身 体 的 特 徴					
身長	160 cm	体型	普通	体重	55 kg
歩行	茶色の杖を使っている				
会話	簡単な受け答えはできるが、つじつまが合わないことがある				
その他特徴	黒縁の眼鏡 青色のトレーナー 黒色のズボン 茶色の靴(反射シール付き)				
持ち物	茶色の杖 赤色のリュック 黒色の財布				
よく行く所	長岡京市役所 長岡天満宮 図書館				

※発見された場合は直ちに下記にご連絡ください。

長岡京市東地域包括支援センター(075-963-5508)

長岡京市市役所 高齢介護課(075-951-2121)

向日町警察署(075-921-0110)

救護・手当が必要な時は乙訓消防組合(☎119)に連絡してください。

※この情報シートは捜索解除の連絡後、シュレッダー等で必ず破棄してください。

15



体験会で利用したツール②反射シール(第1部・第2部・第3部で使用)

反射シールには、市章と登録番号が印字されており、長岡京市に連絡いただければ、登録台帳から誰かが分かるようになっています。



体験会で利用したツール③QRコードシール(第2部で使用)

QRコードシールは、高槻市役所の電話番号をQRコード化したシールで、ドライヤー等を利用し、服や靴などどこにでも貼ることができます。



体験会で利用したツール④GPS(第1部で使用)

GPS

従来のGPSより小型で持ちやすく、専用の靴に収納できるようになっている。

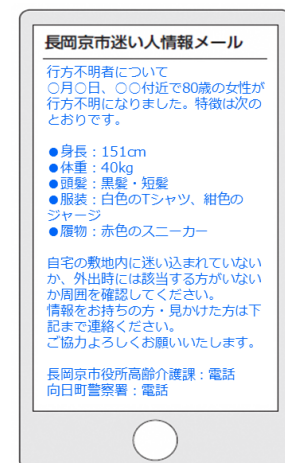




体験会で利用したツール⑤情報メール(第3部で使用)

迷い人情報メール

家族の申し出により、事前に行方不明者情報メールを受信する登録をいただいた「メールサポーター」に、行方不明者の特徴などを送信したメールを送信して、自宅敷地内の搜索や近隣への情報提供などの協力を依頼します。



体験会で利用したツール⑥かえるお守り(第1部・第2部・第3部で使用)

かえるお守り
(Bluetooth発信器) とは…
軽量で小型の発信器で、Bluetooth機能を活用して受信器と反応します。事前登録している希望者の方に2年間無料で配布しています。





資料2:Bluetooth 機能を活用した見守り体制

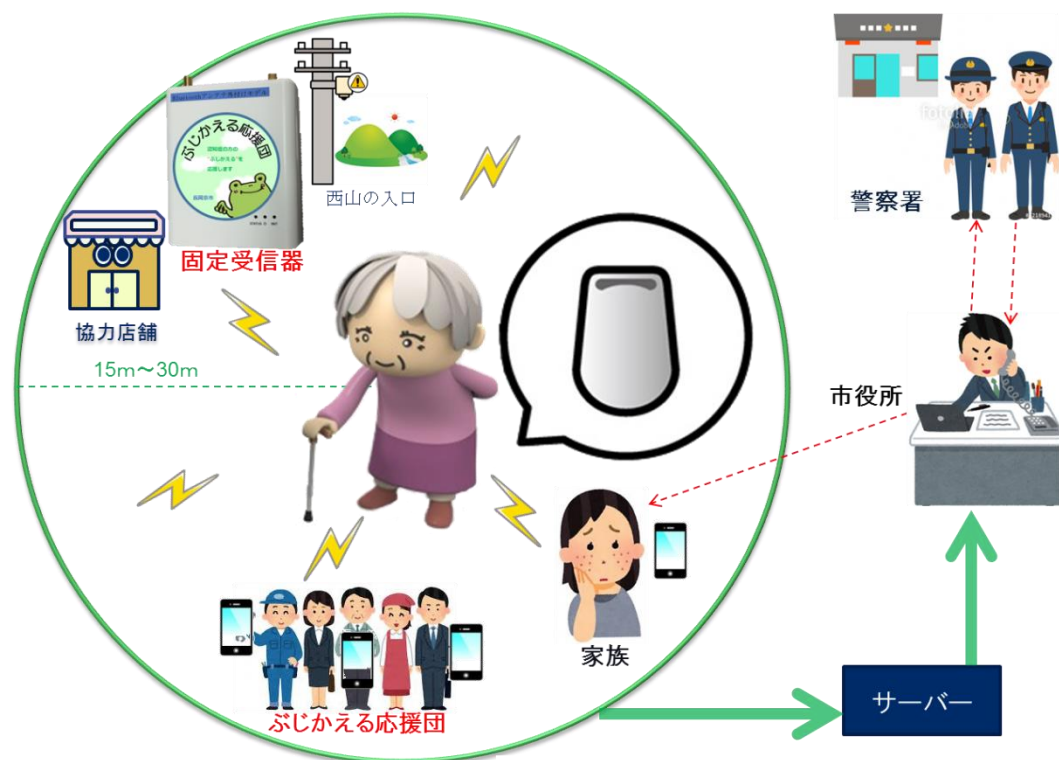
かえるお守り(Bluetooth 発信器)を事前登録者に配布し、市内に配置した受信器で受信した位置情報を検索に活用し、早期発見早期保護を目指します。

どんな仕組みになっているの??

アプリをインストールすることにより、行方不明発生時に管理者(市)からBluetoothとGPSの起動を促すプッシュ通知を送信します。プッシュ通知受信によりアプリは自動起動されます。アプリの起動+Bluetooth+GPSが起動することにより携帯電話が受信器となります。この受信器の協力者をぶじかえる応援団と呼んでいます。

どうやって使うの??

行方不明発生時には管理者(市)や家族がご本人の通過履歴を確認し、検索範囲を絞ったり、検索中には受信器とすれ違った際にご本人の位置情報をより早く取得できるため、早期発見早期保護につながっています。





※見守りアプリのインストール方法は下記のとおり

【インストール方法】

①Appstore もしくは GooglePlay で

②ミマモルメボランティアアプリを

③利用規約に同意する。

「ミマモルメボランティアアプリ」と検索する。

インストールする(無料)。



④アプリの説明を読み、「次へ」を押す。

⑤登録ボランティアですか？

⑥登録が完了すると、以下の

に「いいえ」を選択する。

画面になります。





資料3:第1部・第2部広域搜索体験参加者アンケート結果

平成29年度迷い人搜索体験アンケート結果

アンケート対象者

平成29年9月21日実施広域搜索体験参加者

アンケート回答数

64人 (参加者数: 第1部32人 第2部96人)

アンケート結果について

①:属性

男性…21人 女性…43人

地域包括支援センター…30人 行政…7人 認知症地域支援推進員…3人

介護・福祉関係事業所…16人 その他…8人

②:「行方不明者役」を搜索するとき、何を見て(何を目印にして)探しましたか。(手がかりにした
度合いが高いものから順に1, 2と数字を記入してください。)

	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番
情報シートの顔写真	25	8	3	2			
情報シートの服装	29	18	1				
情報シートの髪型			5	2	1	1	
情報シートの体格		10	2	3	1		
靴の反射シール		5	1	1	2		
QRコードシール		2		1	1	2	1
GPSの位置情報	4	7	3	1			2

その他…趣味や嗜好情報 4人、よく行く場所 2人



③: 認知症高齢者を地域で見守る体制づくりのために、搜索体験は有効だと思いますか。

有効……………63 人

有効でない…… 0 人

回答なし……………1 人

＜有効である理由＞

- ・体験をすることで意識が高まる
- ・様々なしくみの検証ができる
- ・体験してみないと実際どうすればいいかわからないと思った
- ・実際に歩いてみると今まで見てなかったところも見ようとできた
- ・イメージだけではわかりにくいので体験は重要と思った
- ・日ごろからの地域との接点をもつ、今回の搜索訓練を定期で行う
- ・行政区間を超えての連携が必要と感じました
- ・限られた情報だけで搜索することの困難さがわかる
- ・意識高揚と啓発、顔の見える関係づくり等他方面で有効と思う
- ・実際に体験することが意識改革につながる
- ・1つの市町村にいたとは限らないので広域で実施することは有効と思う
- ・地域の意識向上に役立つ、また事前登録の必要性等自身が探してみたことで気づきがあった
- ・どんなやり方でおこなえば発見しやすいかを学べる
- ・不明者が地域にとけこんでいるということが実感できた
- ・実際のイメージができた
- ・実施してわかる見守りの大切さを感じた
- ・市民や専門職に関心を持ってもらえる
- ・実際にあったときの声かけの仕方などが学べるため
- ・普段から活動に慣れておく必要がある
- ・各ツールの運用を体験できてよかった
- ・地域の困りごとを皆さんに知ってもらい、協力する姿勢が大切
- ・訓練中にも市民の方々に訓練のことなど伝えていくことも大切と感じました
- ・日ごろから訓練することでスムーズな連携がとれる
- ・人の目が多い方がよい
- ・体験することで GPS 等の使用方法もわかるため
- ・新しいツール等使うことができてよかった
- ・地域の目、地域の意識の向上に必須
- ・やってみないとわからないことが多い
- ・どう探するのがよいかの体験ができる



④:その他お気づきの点など、ご自由にお書きください。

- ・服装等の色について情報提供者と受け手の認識の違いを実感した。紺色を青や緑と表現する等
- ・エリアを決めて検索の方が効率的だった
- ・FAX の情報と実際の姿の違い(写真)、情報伝達の時間
- ・地域で見守る支援制度、周知を深めていきたい
- ・市町村域を超えて取り組みができればいいですね
- ・初動、土地勘、協力者数が重要
- ・事前情報があり、エリアも絞られていたが、思ったよりも見つけにくかったです
- ・目につく方がすべて対象者に見えてしまうという経験は貴重だった
- ・顔写真の有効性＝事前登録の必要性を感じた
- ・歩ける範囲は限られているので、思ったほど動けなかったもの実体験できた
- ・住民さんにも今後参加してもらうことや知ってもらうことなど広報についても考えていきたいです
- ・行方不明者の趣味の部分から場所を特定していくというのはなるほどと思いました
- ・同じ場所に複数の班が検索していたことがあったので、もっとばらけるべきだと感じた
- ・検索するボランティアの方が腕章がほしいと思うこと等やってみて実感としてよくわかった
- ・なかなか声かけはしにくい
- ・土地勘がある人が先頭に立って探す方がスムーズにいくかなと思った
- ・羽曳野市から来させてもらい、体験した。地域に持ち帰って実際に検索体験できるようにと思いました
- ・よく似た方がたくさんいると感じた
- ・検索範囲がちょうどよかった
- ・他市との連携は今後も必要と思う。今回他市の方と行動し、周辺地域を知ることができたのは大きい
- ・検索グループがいくつかある場合探す場所をてわけしたほうがよいと思いました
- ・よい体験ができた
- ・ネットワークづくりが大切と思いました日ごろから検索地域のブロック分けが必要だと思います
- ・帽子の情報があれば有効、知らない土地で探すのは大変
- ・いろいろなツールを活用することの有効性を体験できました。特に GPS はやはりすごいと感じました
- ・GPS の更新が面倒
- ・一人ではなかなか積極的に関われない
- ・チームで動くことで行動力が増える
- ・他事業所との顔の見える関係になれる
- ・実際には歩いて探すことはないと思うので、自転車やバイクでの検索もしてみたい
- ・暑い時期なのでグループに1本水分を持たせてもらえると行方不明者に渡すことができる
- ・GPS の効力はすごい
- ・GPS の活用前に発見されました。早い段階での検索が大切だと改めて感じました



～ここからは検索体験で行方不明者を見つけたチームの方のみ回答～

①：行方不明者発見の際、どのように感じましたか。（複数回答可）

声かけのタイミングが難しい	10
どんな反応をされるか不安	7
人違いだったら恥ずかしい	10
何と声をかけてよいかわからない	2

②：どのように声かけをしましたか。

- ・声かけに至っていない
- ・「たろうさんですか」と二度声かけした
- ・正面で出会ったので「じろうさんですか」と声をかけた
- ・通りかかる方々に写真を見せながらこのあたりで見ていないか、見覚えはないかを聞いた
- ・名前を呼んだ
- ・たろうさんですかと聞いた
- ・見守りのみ
- ・名前を聞いた後に心配されないように会話した

③行方不明者保護後の対応にあたり感じられたことがあれば教えてください。

- ・意思疎通が困難な方の場合には警察に保護されるまでが大変と感じた
- ・実際は知らない人に声かけられたらびつくりされるのではないかと考えた
- ・たくさんの目があっても見つからないことが印象に残った
- ・できれば班によって区割りができると均等に探せると思った
- ・保護後に渡す水分があればいいと思う
- ・通行人の顔を確認することは難しいと感じた
- ・認知症の方、特に混乱されている場合は慣れていないと難しいのではないかと感じた
- ・認知症の理解対応を学ぶことも同時にすすめる必要がある



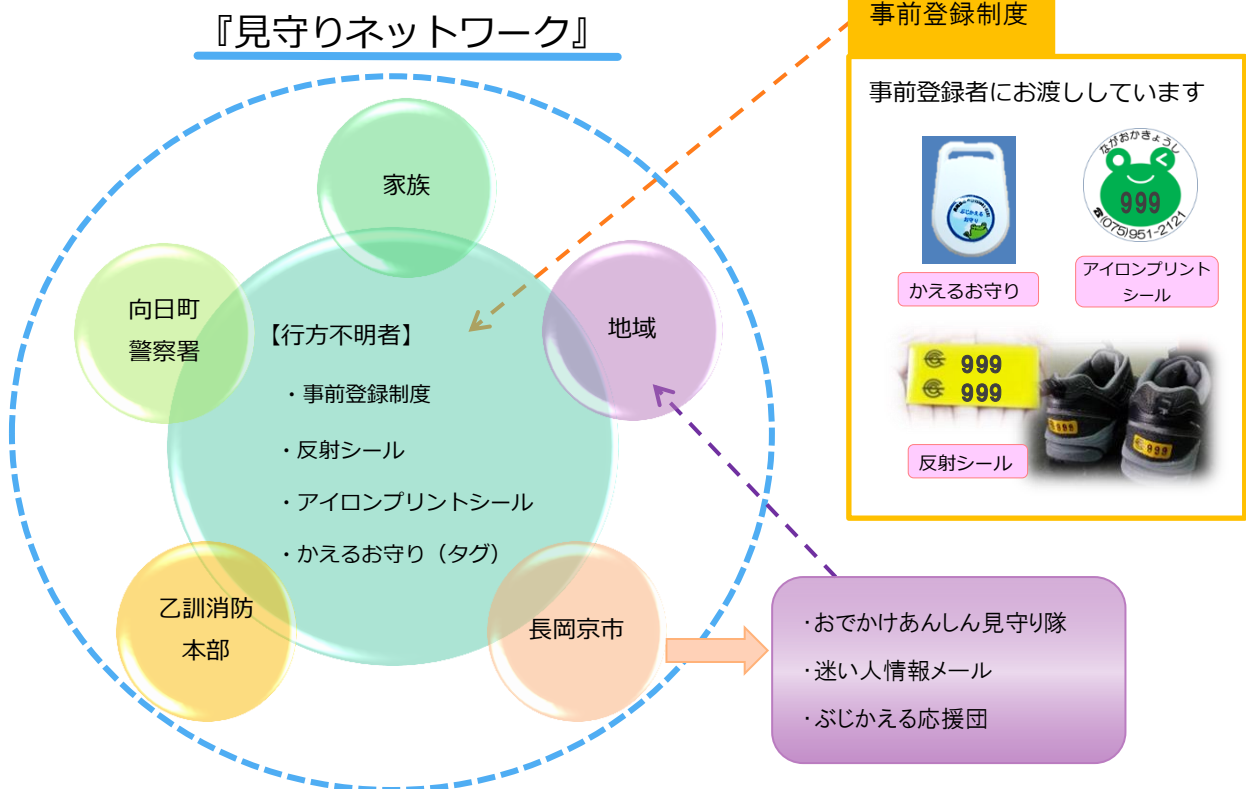
資料4:おでかけあんしん見守り事業概要

おでかけあんしん見守り事業として次の事業を実施しています。

※Bluetooth 機能を利用した見守り体制も、おでかけあんしん見守り事業の一環として実施しています。

- おでかけあんしん見守りネットワークの構築
- 事前登録制度
- 事前登録者へ反射シール・アイロンプリントシール・かえるお守り（発信器）の配布
- 協力団体（おでかけあんしん見守り隊）へ登録者ステッカーの配布
- 迷い人情報メール（かえりんメール）の配信
- Bluetooth アプリ協力者（ぶじかえる応援団）による見守り
- 徘徊模擬訓練（行方不明者捜索体験）の実施

【おでかけあんしん見守り事業の構成】





● おでかけあんしん見守り隊

対象：団体・事業所

商店や事業所・団体を対象としており、行方不明者発生時にFAX等で情報シートを受け取り店舗等に掲示していただくとともに、通常業務の範囲内で検索をお願いします。また、見守り隊ステッカーを店舗に掲示していただくことで認知症及び事業の啓発をお願いしています。見守り隊となつていただいた店舗には認知症サポーター養成講座を受講していただいています。

● 迷い人情報メールサポーター

対象：個人

行方不明になられた旨の連絡があった時に、行方不明者の特徴や行方不明になった場所をサポート者に送信し、自身の敷地内や地域を捜索していただくとともに外出時に特徴に当てはまっている方がいないかの確認をお願いしています。

● ぶじかえる応援団

対象：個人

携帯電話をBluetooth タグの受信器として活用するための専用アプリをインストールいただき行方不明になられた旨の連絡があった時に受信器として捜索に協力をお願いします。

メールサポーター
登録はこちら

kaerin.nagaokakyo-wlf
@raiden.ktaiwork.jp ヘ空メール



ぶじかえる応援団アプリ
インストールは こちら

<http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000005520.html> ヘアクセス





資料5:おでかけあんしん見守り事業利用状況

平成29年9月30日現在

事前登録者数	173人
反射シール・アイロンプリントシールの配布数  	167人
かえるお守り(Bluetooth タグ)保有数 	139人
GPS 保有数 	16人
協力団体の登録(見守り隊) 	130団体 介護事業所・交通機関・スーパーや 商店・医院・郵便局・薬局・金融機関
携帯メールサポーター 	590人
スマートフォンアプリインストール者(ぶじかえる応援団) 	1067人

資料6:平成29年度行方不明届出・対応状況

平成29年9月30日現在※市役所に届出のあった件数のみ

行方不明届出・対応件数	13
事前登録者	6
かえるお守り(Bluetooth タグ)保有者	5
GPS 保有者	2
対応後に事前登録した人	5
対応後にかえるお守りを保有した人	1
対応後に GPS を保有した人	0



資料7:平成29年9月かえるお守り通過ログ

設置場所	9月
ENEOS Dr. Drive長岡京店	27
SEIYU西友 長岡店1F	1283
あい薬局 花山店	270
イズミヤ 長岡店 1F	518
お好み焼き克	12
さくら薬局京都長岡京店	50
センチュリー21	13
ソフトバンク長岡天神	215
デイリーヤマザキ 長岡京友岡店	352
バーバーumemura	1
ポッポ自転車一文橋店	22
みずほ銀行 長岡天神支店	120
りそな銀行 長岡天神支店	151
リバティ長岡店	1463
ワイモバイル 阪急長岡天神	326
京宝運輸有限会社	22
小倉山荘竹生の郷	7
万代長岡京店	1196
奥海印寺谷田地区から藪への入り口00001	3
奥海印寺太鼓山から藪への入り口00002	200
奥海印寺北開の藪の入り口00003	0
奥の院第1配水池00004	2
河陽が丘前走田神社に続く入り口00005	58
奥海印寺明神前の交差点00006	141
奥海印寺竹ノ下西山キャンプ場への入り口00007	0
柳谷道片山田交差点00008	1
奥海印寺鈴谷入口00009	6
奥海印寺荒堀敷の側道00010	4
高台1丁目藪への入り口00011	17
こがねが丘、高台1丁目の境目00012	18
こがねが丘、高台1丁目の境目00013	22
高台1丁目と2丁目の境目の交差点00014	46
金ヶ原と高台2丁目の境目、御陵道沿い00015	24
金ヶ原と高台2丁目の境目00016	52
湯川酒店の前00017	38
高台4丁目、西乙訓高校手前00018	47



<参加団体>

大阪府高槻市、大阪府三島郡島本町、京都府乙訓郡大山崎町、京都府長岡京市、京都府向日市、京都市南区、京都市西京区、大阪府警察本部、京都府警察本部、高槻警察署、向日町警察署、南警察署、乙訓消防組合、京都府乙訓保健所、大阪府高槻市認知症地域支援推進員、大阪府三島郡島本町認知症地域支援推進員、京都府乙訓郡大山崎町認知症地域支援推進員、京都府長岡京市認知症地域支援推進員、京都府向日市認知症地域支援推進員、大阪府三島郡島本町地域包括支援センター、京都府乙訓郡大山崎町地域包括支援センター、京都府長岡京市東地域包括支援センター、京都府長岡京市西地域包括支援センター、京都府長岡京市南地域包括支援センター、京都府長岡京市北地域包括支援センター、京都府向日市北地域包括支援センター、京都府向日市中地域包括支援センター、京都府向日市南地域包括支援センター、京都市久世地域包括支援センター、大阪府島本町社会福祉協議会、京都府大山崎町社会福祉協議会、大阪府高槻市看護付小規模多機能ホーム上牧の郷、大阪府高槻市デイサービスセンター上牧の郷、大阪府高槻市サンホームサポート訪問介護、大阪府高槻市和朗園訪問介護、大阪府高槻市和朗園ケアプランセンター、大阪府高槻市和朗園デイサービス、大阪府高槻市福祉用具レンタルもも、大阪府高槻市上牧ケアプランセンター、京都府長岡京市特別養護老人ホーム竹の里ホーム、京都府長岡京市(有)スマイルケア、京都府長岡京市総心会居宅介護支援事業所、京都府長岡京市(株)こもれび、京都府長岡京市長岡京せいしん会、京都府長岡京市居宅介護支援事業所天神の杜、京都府長岡京市ニチイケアセンター長岡京、京都府長岡京市みずほ銀行長岡天神支店、京都府長岡京市千春会居宅介護支援事業所、京都府長岡京市今里ケアーズドラッグ、京都府長岡京市長岡美装社、京都市南区久世居宅介護支援事業所、京都市南区久世西ケアプランセンター、京都市南区吉祥ホーム、京都府長岡京市老人クラブ連合会、京都府長岡京市民生児童委員

<協力団体>

大阪府、京都府、京都市、阪急阪神ホールディングス(株)、阪神電気鉄道(株)、阪急電鉄(株)、アイテック阪急阪神(株)、リアライズモバイル(株)、コーナン商事(株)、ホームセンターコーナン高槻上牧店